

公園整備事業実施状況説明資料

◆建設局運営方針の概要

- だれもが住み・働き・訪れたい魅力ある都市空間を創出する。
- 新たな緑を創出するとともに全ての緑を良好に保全・活用していくことで、うるおいのある良好な都市環境の形成を図る。
- 南海トラフ巨大地震を踏まえた対策や密集市街地における道路整備、近年多発している集中豪雨への対応を強化するための地域特性にあった局地的な浸水対策など、震災・風水害に備えた都市基盤施設の機能拡充や安全・安心な市民生活を実現する。
- 道路・公園など膨大な量の都市基盤施設について、高齢化が進んでいるため、計画的な管理を行い、安心安全な市民生活や都市基盤を支える機能を維持していく。

公園整備事業実施状況説明資料

◆公園整備事業の大阪市の全体計画での位置付け

○公園事業全般

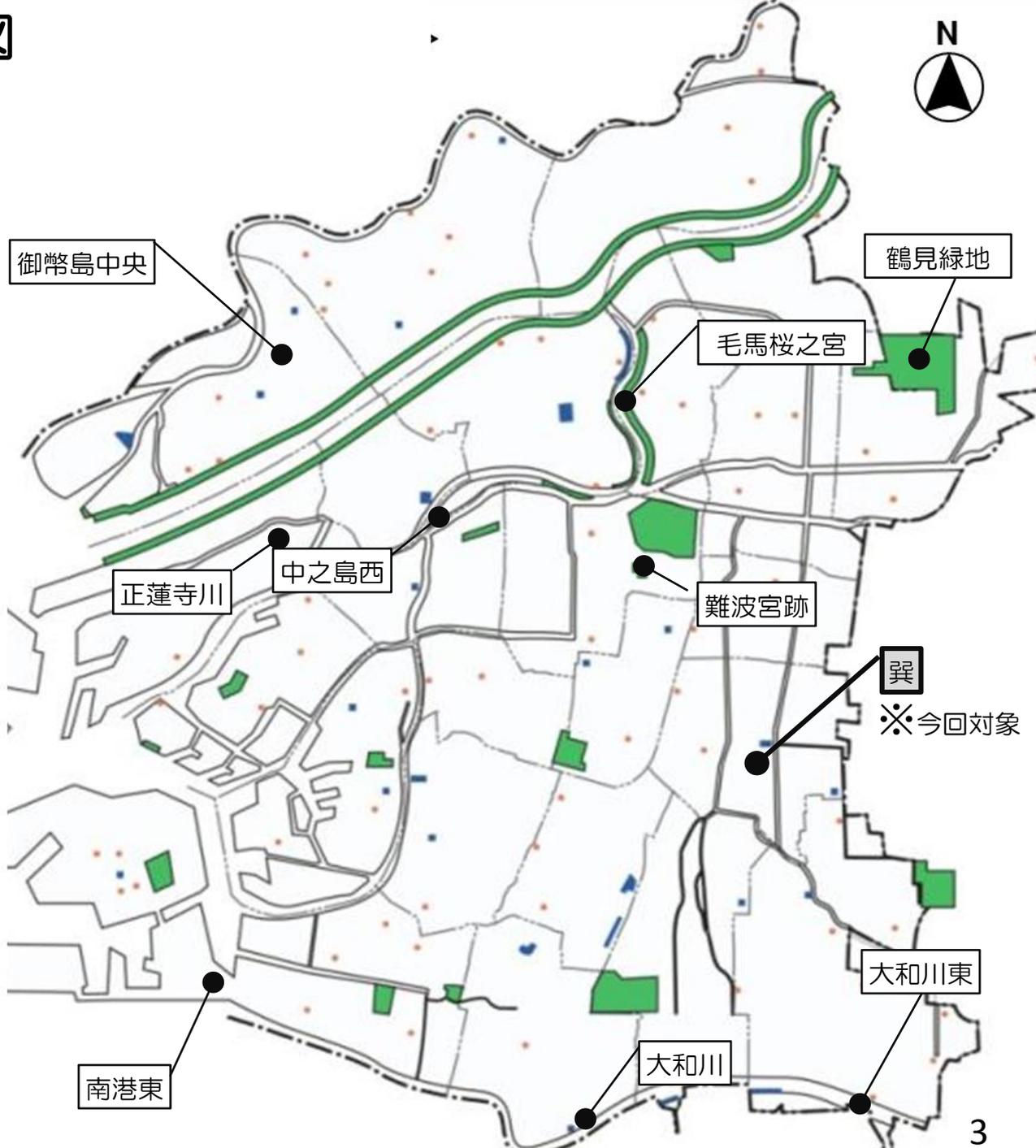
新・大阪市緑の基本計画

基本方針(だれもが住みたい・働きたい・訪れたいと思う“みどりの基盤”を構築する)において、「災害に強い都市空間の創出」、「人と自然が共生する都市環境の創出」、に位置付けられている。

大阪市地域防災計画

公園等の都市基盤施設については、震災時には防災上、災害応急対策活動を実施するための空間、あるいは被害軽減のための空間としての役割を担うオープンスペース機能の発現のため、整備を推進することとしている。

事業計画・事業箇所図



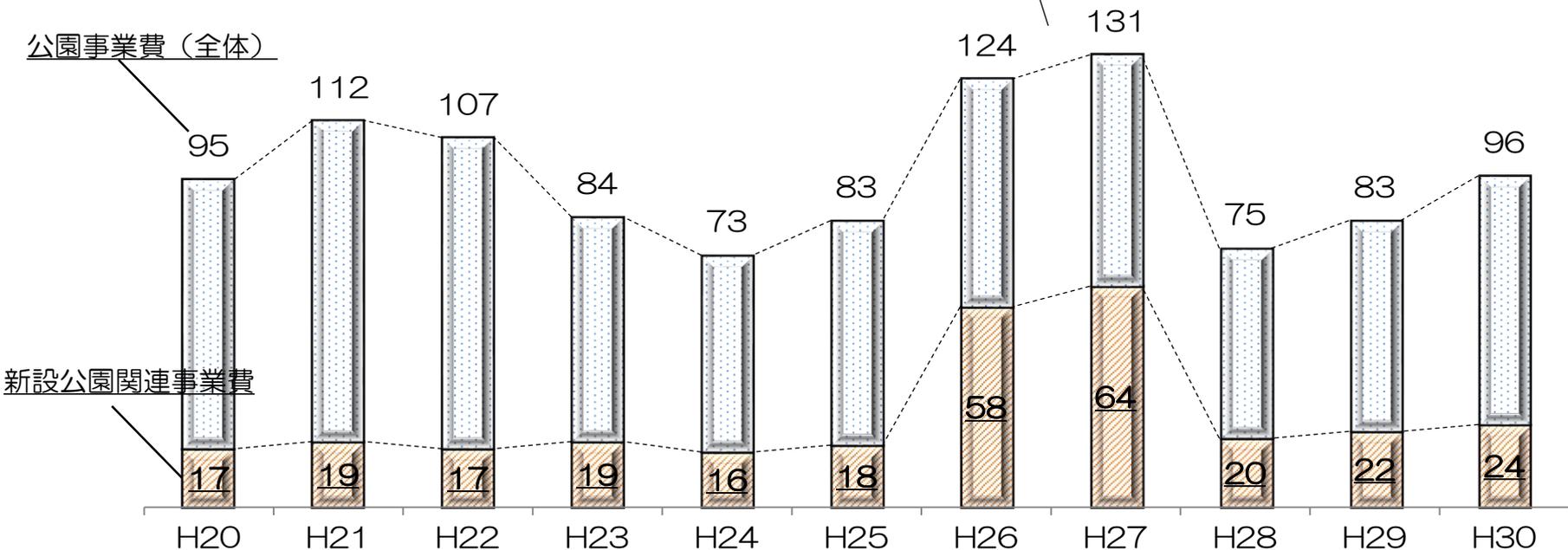
事業費の推移

全体の公園事業費や新設公園関連事業費も平成20年度以降、ほぼ横ばいの状態となっている。

公園事業費の推移（億円）

※平成29年度、30年度は予算額、平成28年以前は決算額を記載

H26・27の決算額が増加しているのは、
用地費の繰戻しを促したことによる。



選択と集中の考え方等

局運営方針に照らした事業の位置付け

【局運営方針（平成30年度）】

- 大阪市では、道路、公園など膨大な量の都市基盤施設を管理しており、かつ、古くから都市化が進んだため、都市基盤施設の高齢化が進んでいる。これらの都市基盤施設は安全・安心な市民生活や都市活動を支える基盤であるため、計画的な管理を行い、その機能を着実に維持していく。
- 南海トラフ巨大地震を踏まえた対策など、震災・風水害に備えた都市基盤施設の機能拡充により安全・安心な市民生活を実現する。

事業の選択と集中の考え方

- 既に事業認可を取得するなど、事業着手している公園について優先的に実施する。
- 関連事業の事業計画があるものや、既に公園用地として取得済みで、未整備である公園の早期開設に向け、優先的に実施する。
- 今後も限られた財源の中で、事業の選択と集中により、事業費の確保に努めていく。

以上を踏まえ、調整、実施を行い、公園事業の推進を図る。

実施中事業一覧（公園事業）

事業名 (公園・緑地名)	種別	全体 事業費 (百万円)	進捗率 (整備面 積パー ス) %	進捗率 (事業費 パー ス) %	完了 予定 年度											
						24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
正蓮寺川	緑地	6,700	10	35	H37	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
難波宮跡	歴史	1,468	0	43	H32			●	●	●	●	○	○	○		
毛馬桜之宮	総合	16,600	88	88	H35		●	●	●				○	○	○	○
大和川	風致	27,700	71	99	H36									○	○	○
御幣島中央	近隣	1,710	0	70	H33						●		○	○	○	
巽 ※今回対象	地区	16,200	72	98	H35			●	●			○	○			○
中之島西	街区	55	97	96	H34					●				○	○	○
南港東	近隣	3,298	99	94	H30				●	●	●	○				
鶴見緑地	緑地	127,500	99	99	未定			●	●	●						
大和川東	街区	27	0	10	未定				●							

●: 事業実施
○: 事業予定